

本の森

Yamagata Pref Library Newsletter

vol.7(2018.3)

通信

「県民が集い・学ぶ 本のまち」 県立図書館大規模改修



●歩み

山形県立図書館は、明治43（1910）年5月に「行啓記念山形県立図書館」として開館したことから始まります。

その後、平成2（1990）年7月に生涯学習推進施設として、知事公舎・公館が建っていた由緒あるこの地に「遊学館」を建設し、その中に中核施設として開館しました。

●動き

近年、公共図書館をめぐる情勢はめまぐるしい変化を遂げています。これまでの図書館は、「静」のイメージが強くありましたが、現在は多様な「場」として積極的な活躍が期待され、「動」の要素も兼ね備えた図書館への変容が求められるようになってきました。

そのような動きの中で、山形県立図書館も新たな企画事業の展開や運営面の見直しを進め、時代に合った利用者サービスを実施してきましたが、さらなる活性化を目指してハード面も充実させることになり昨年12月、「山形県立図書館の大規模改修の概要」が公表されました。

●変わる

改修後の図書館では、「県民が集い・学ぶ 本のまち」を基本コンセプトに、4つの柱を実現しようとしています。

ときめく図書館

たよれる図書館

つながる図書館

ひろがる図書館

（H27年度策定「山形県立図書館活性化基本計画」より）

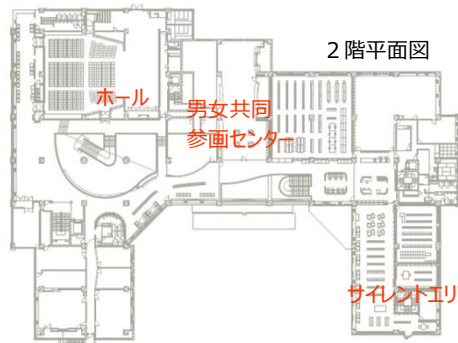
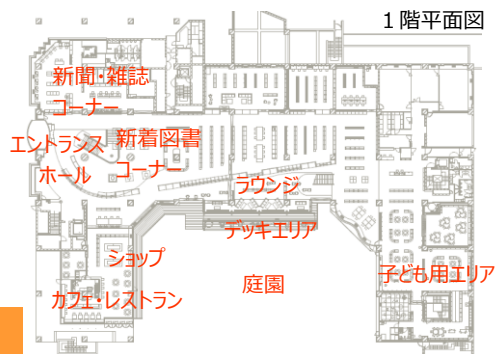
図書館エリアは約1.5倍に拡大、開架書架は現在の倍の収納力になります。1階は本や人との交流をアシストできるような「動」の空間に、2階は従来の「静」を大切にしたい空間として設計され、求められる役割同様「静と動」を兼ね備えた図書館空間を演出しています。

新設されるエリアを少しご紹介します。まずは子ども用エリアが1階にオープンします。中庭に面した日当たりのよい「お話しの部屋」や「子ども用トイレ」「授乳室」が整備され、小さな子どもを連れた方にもゆっくりと過ごしていただけるものと期待しています。他に中高生が話し合いを進めながら学習に取り組むことのできるアクティブラーニングルームも新設、対面朗読室は1階に移動します。また、2階の郷土エリアは「サイレントエリア」として、より静かな環境の中で読書や郷土研究に活用いただけたらと思います。

●目指す

改修工事は、平成30(2018)年度途中から始まり平成31(2019)年度中に完成の予定です。折しも2020年は遊学館がここに開館してから30年、そして山形県立図書館の始まりから110年のふたつの節目を迎えます。改修を機に、県民のあらゆる活動を支え、地域の課題解決に貢献する知の拠点【県民が集い・学ぶ 本のまち】を目指していきます。

また、県立図書館がより躍動するためには、県民の皆様にご利用いただけることが第一と考えています。館内での利用者サービスに加え、市町村立図書館支援を拡充し、より多くの県民の皆様へ永く利用いただける山形県立図書館となるよう、職員一同心を込めて業務に励んで参ります。ご来館、ご利用をお待ちしております。



今年も大好評！

県立図書館クリスマス・フェスタ2017

今年で3回目！平成29年12月16日（土）に開催したクリスマス・フェスタの様子をご紹介します♪

ラッピングブック

開けてびっくり！！ラッピングブックは今年も大好評☆
当館職員とボランティアさんのおすすめ本をメッセージを添えて可愛くラッピング♪本を読んだ感想もたくさんの方からいただきました。

ハンドベル演奏会&絵本読み聞かせ

「山形ベルの会」の皆様によるハンドベルの演奏会はクリスマスにぴったり♪
今年は当館職員による絵本の読み聞かせとコラボしました。
ハンドベルの美しい音色と絵本の温かいお話が響きわたりました。

図書館地下探検ツアー

日ごろお見せできない図書館のバックヤードを職員の解説とともにご案内。
山形県初の新聞や「山形城絵図」等を職員の解説付きでご紹介しました。
貴重なお宝資料やバックヤードにみなさん興味津々でした。

クリスマス・フェスタでは、ラッピングブックのラッピング作業や当日の案内などを図書館ボランティアの皆さんにお手伝いいただきました。
ボランティアの皆さんありがとうございました！

図書館で学ぶ。「本の森講座」



H29.11.11.（土）

もり はる

「山形城絵図『伊藤本』を読む―県立図書館所蔵『守春本』と比して―」

「山形県教育の日」に合わせ、県生涯学習文化財団4施設合同企画との共催事業として、村山民俗学会幹事の市村幸夫先生を講師にお迎えし、絵図を基に最上氏時代の山形城下町の様子をお話いただきました。



H30.2.24.（土）

「あなたの『夢』応援します！（創業支援セミナー）」

「県立図書館ビジネス支援図書拡大展示」に合わせ、日本政策金融公庫山形支店との共催で、公庫及び山形商工会議所の担当者の方から創業にあたってのアドバイス・支援制度の説明をいただきました。また、特別講義として、既に県内で創業した先輩起業家のお二人からも貴重な体験談をお話いただきました。



H30.3.16.（金）

「遊学館界隈いまむかし～川原の風景から歴史文化の街へ～」

県立博物館専門嘱託の野口一雄先生に講師をお願いし、緑町近辺の移り変わりをお話いただきました。この回はいつもと趣を変えてカフェスタイルでコーヒーとケーキをいただきながらの講座としました。



今年度の「本の森講座」は、3回開講しました。どの回も定員を超えるような申し込みをいただき、担当が嬉しい悲鳴を上げるほどの盛況ぶりでした。改めて県民の皆様の学ぶ意欲・郷土に対する関心の高さを感じられたところです。来年度も、皆様の興味がわく、喜んでいただけるような題材で開講したいと考えております。乞うご期待！

山形の昔話を マルチメディアDAISYで

「本の森通信vol.4」でご紹介した「マルチメディアDAISY図書」。「公益財団法人伊藤忠記念財団」では、各都道府県に伝わる昔話をマルチメディアDAISY化する「日本昔話の旅シリーズ」という事業を展開しています。

この度、山形県の昔話もこのシリーズに加わることとなりました！！加わる昔話は、上山に伝わる『ねずみのすもうとり』です。

今回は、昔話の選定、標準語及び方言テキストの作成、挿絵作成、ナレーションなどの多くの作業について、「東北文教大学短期大学部民話研究センター」（センター長：佐藤晃氏）に全面的な協力をいただきました。

中でも「挿絵」と「ナレーション」は短期大学部子ども学科2年生、人間科学部子ども教育学科4年生の学生さんが卒業年度の忙しい中、担当してくださいました。

『ねずみのすもうとり』は誰もが「くすっ」と笑えて気持ちが「ほっこり」するお話です。あたたかいイラストや方言のナレーションが、「くすっと笑えて」「ほっこりする」お話を見事に引き出してくれています！

完成したDAISY図書は、伊藤忠記念財団より全国の公共図書館や学校図書館に寄贈される予定です。当館でも、閲覧・貸出用資料として皆様に見ていただけるよう準備を進めますので、楽しみにしていてくださいね。



フィールドワーク実施

平成29年11月14日（火）に、東北文教大学短期大学部総合文化学科の学生さん11名が、多様な情報活動を展開している企業・団体への取材を通してその意義を考察する「文化コース演習」の授業として、当館でフィールドワークを実施しました。

「収集・保存」と「提供・利用」の2グループにわかれ、当館の運営について若い方目線の鋭い質問が相次ぎました。

また、当館職員も若い方の貴重な意見を聞くことができ、とても有意義で楽しいフィールドワークの時間を味わうことができました♪



マルチメディアDAISY図書って・・・？

音声と一緒に、文字や画像が表示されるデジタル図書のことをいいます。さらに、読み上げているセンテンス部分の色が変わるので、どこを読んでいるかがわかりやすく、文字の大きさ、形、色なども見やすい状態に変更することが可能です。

目が不自由な方やページをめくることが困難な方、活字が苦手なお子さんでも読書を楽しんでいただくことができます。

「大人も絵本を楽しもう！」 絵本講座初開催

平成29年12月3日（日）に、山形県図書館職員専門研修（絵本編）公開講座が開催されました。

多くの方に絵本の奥深さ・面白さを知ってほしい、絵本を存分に楽しんでほしいという思いから、図書館職員の他にも県内で活動されている読み聞かせサークルの方や絵本に興味のある一般の方などを対象とした公開講座です。

第1部は東北文教大学短期大学部子ども学科准教授川越ゆり先生による絵本の奥深さを知ることができる「絵本講座」、第2部は同じく東北文教大学短期大学部子ども学科の学生さんによる楽しい「絵本読み聞かせ」、第3部はおすすめ絵本を紹介したり絵本や読み聞かせのことについて楽しくお話する

「絵本Café」と非常に盛りだくさんの内容でした。

今回のような『大人も絵本を楽しむ』ことを目的とした企画は初めてでしたが、参加した方からは、「絵本の奥深さを知ることができて勉強になった」「とても楽しかった」など多くの嬉しい感想をいただきました。

ご協力いただいた東北文教大学川越先生、学生の皆様、本当にありがとうございました。

絵本講座



読み聞かせ



絵本Café



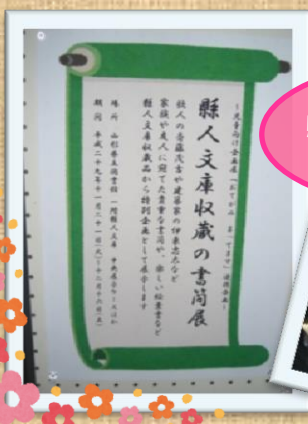
企画展いろいろ！！



秋の読書週間企画展
2016~2017 県内出版物展
H29.10.17~11.18



ビジネス支援図書拡大展示
H30.1.23~3.17



県人文庫所蔵の書簡展
H29.11.21~12.16



犬と猫
H29.12.19~H30.1.20



児童向け企画展 てがみ
H29.11.21~12.16



くらしの道しるべ
山形の「食」の魅力
H29.11.21~H30.5.19



3.11を忘れない...
H30.2.27~3.31



2階児童おすすめ本展示



市町村立図書館（室） 情報コーナー

県内市町村立図書館（室）の情報をお知らせするコーナーです。
第7号では3つの楽しいイベントや展示情報をお届けします♪



北村山図書館 スタンプラリー

村山市・東根市
尾花沢市・大石田町

平成30年2月1日（木）から3月25日（日）までの間、村山市・東根市・尾花沢市・大石田町の4つの図書館を巡ってスタンプを集めるとプレゼントがゲットできるイベント！

必ずもらえる缶バッジはデザイン、製作ともに図書館職員の手作り♪



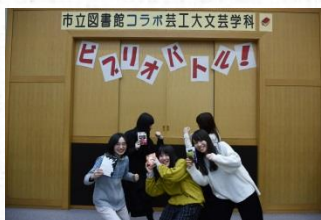
ビブリオバトル

寒河江市

平成30年2月17日（土）に開催された寒河江市立図書館と東北芸術工科大学のコラボ企画ビブリオバトル！

「語り継ぐべきもの」をテーマに学生5名と飛び入り参加2名の計7名がそれぞれの推薦本について熱く語りました！

チャンプ本は同大学文芸学科の学生推薦の筒井康隆作「パプリカ」。参加者に配布された「文芸レビュー」は県立図書館にも寄贈いただきました！



県下水道課 連携展示

舟形町・酒田市
上市市・天童市

下水道を広く知っていただきたいという県の職員からの提案で各市町村図書館へ実施を呼びかけました。

下水道事業を紹介したパネルや下水道汚泥を活用したリサイクル商品、県内のマンホールカードなどの展示物やチラシ・パンフレットも提供しました。

11月舟形町中央公民館図書室、12月から1月酒田市立中央図書館、2月上市市立図書館、3月天童市立図書館で巡回展示を実施しました。



酒田市立中央図書館の展示風景です

児童書のご寄贈 ありがとうございます

平成30年1月19日（金）に、日産山形会（会長：小関眞一氏）より、童話と絵本のご寄贈をいただきました。

寄贈いただいた図書は、「第33回日産童話と絵本のグランプリ」童話大賞受賞作品「こめとぎゅうれいのよねこさん」、絵本大賞受賞作品「ぎゅっ」です。

この2作品は、県立図書館を通して県内35市町村の図書館・公民館図書室にも配布しておりますので、みなさんぜひお手にとってご覧ください！
素晴らしい本をありがとうございました。



蔵書点検中の図書館では 何をしているの？

平成30年2月14日（水）～22日（木）に行った蔵書点検の様子を少しだけご紹介します♪

1日目はボランティアさんにもご協力いただき、職員総出で開架資料約19万冊の書架整理です。分類番号順、著者名の五十音順に丁寧に並べていきます。

2日目以降は、資料のデータを専用の機械で読み取り、図書館のシステムに登録されているデータと突き合わせて不明本の有無等を点検します。

ここで、資料に貼付しているICタグのデータを読み取る機械と、資料のバーコードを読み取る機械が大活躍！スムーズに資料のデータを読み取ることができます。

今年は開架資料に加え、郷土書庫約8万3千冊、児童書庫約1万6千冊の資料も点検しました。郷土書庫の点検では館長と副館長も大活躍でした。

最後に不明本探索。館内全体を探し回ります。その他資料のデータがおかしいものを修正して蔵書点検は完了です。

蔵書点検中の図書館では、このような作業が毎日行われていたのです！

ボランティアさんが書架整理をしていますー



あなたの知らない図書館の世界

vol. 7 地下書庫に眠る注目資料 「新選名著複刻全集 近代文学館」

毎回恒例のこのコーナー。今回は図書館地下探検ツアーでも好評のお話、県立図書館地下書庫に眠る注目資料「新選名著複刻全集近代文学館」のご紹介です！

「新選名著複刻全集近代文学館」は1970年に日本近代文学館が刊行したもので、当館では1995年発行の第4版を所蔵しています。

明治5年発行の福沢諭吉著「学問のすゝめ」から昭和16年発行の山本有三著「新篇路傍の石」まで、近代の名作・名著37作品が、それが刊行された元の姿で、正確に複刻・再現されているのが特徴です。

明治34年発行の歌集「みだれ髪」は与謝野晶子の代表作ですが、奥付をみると著者名が「鳳(ほう)晶子」と記されています。「鳳(ほう)」は晶子の旧姓で、晶子は34年6月に家を捨てて鉄幹と同棲、8月に「みだれ髪」を上刊、秋に鉄幹と正式結婚しています。3版以降は「与謝野晶子」に改められています。

また、恋愛の矢がハートの形をした“みだれ髪”を射抜いている藤島武二の表紙画は必見です。

明治38年刊行の夏目漱石著「吾輩ハ猫デアル」は、本の“天”が金、さらに、本の“小口”と“地”が裁断されていない「アンカット本」となっており、当時は、ペーパーナイフを使って、袋とじ部分を開きながら読み進めていました。

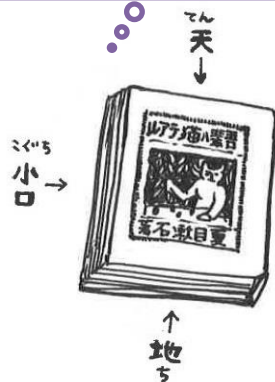
以上、別冊の作品解説をもとに紹介しましたが、すべて貴重資料のため禁帯出となっておりますので、館内閲覧となりますが、是非手にとってご覧いただければ幸いです。

なお、この本はこのたび南陽市の錦三郎氏（元教員、歌人、蜘蛛の研究家、日本エッセイスト・クラブ賞受賞）、錦啓氏（元県立博物館長）の蔵書から1970年発行の貴重な初版をご寄贈いただきましたことを併せてお知らせいたします。



イラストは当館司書のお手製です♪

「天」「小口」「地」とは？



●県立図書館の主な予定 (3月～5月)

< イベント >

- ・「絵本とうたの会」 4月29日

< 展示 >

- ・「文学賞等受賞作品展示」 3月20日～4月14日
- ・「ヨ.11を忘れない・・・。」 2月27日～3月31日
- ・「映像の中の山形作家の世界」 1月23日～3月31日
- ・「自殺対策強化月間 村山保健所連携展示」 3月1日～3月31日
- ・「ふるさと文学交流展」 4月3日～5月31日
- ・「子どもの読書週間企画展 絵本で世界一周！」 4月17日～5月19日

そのほか、「県立図書館職員おススメ本びっくあっぷブック」「レシピ本展示」「くらしの道しるべ」「階調査カウンター前展示」「2階児童コーナー展示」などなど・・・定期的に展示替えをしています！

【編集後記】

本の森通信第7号いかがでしたでしょうか。平成29年度の締めくくりということで、盛りだくさんの内容でした！読み応え十分だったのではないのでしょうか？

4月以降も、イベントや企画展示を企画していきますので楽しみにしてくださいね！

また、冒頭にもありましたとおり県立図書館大規模改修が予定されております。

改修中の図書館サービスなどについては、図書館ホームページなどでこまめにお知らせしていきますので、ご確認ください。

FacebookのQRコード
はこちら！



お問い合わせは…
山形県立図書館企画課
運営企画担当へ！
Tel.023-631-2523
✉ytosho@pref.yamagata.jp